

**会社は社員の努力に報いるべきです！！**

## **「職場改善諸要求」を関西支社に申し入れました！**

9月10日に10月分の休日予定が発表されました。この10月も4回ある日曜日のうち3回が出勤日となっています。関西支社長や所長の「訓示」では『皆さんの非稼働日調整のおかげでお客様に多くの車両を提供できている』『よくやってくれている』といったことがこの間言われています。会社は特休の分散付与や土日祝出勤の解消に向けて要員を増やして東京でもう1本交検を施工することは否定しています。それどころか早ければ今年度中にも「交番検査の周期延伸」をすることをしています。消耗品の摩耗量のみを検証した「テストカー走行」で検査周期を延伸するのは安全最優先ではないと思いますがそのことはさておき、会社は現在の私たち社員の「非稼働日調整」などの努力に対してもう少し報いてくれないのでしょうか。

私たちは9月14日に所属する労働組合を通じて関西支社に対して『毎月10日に発表している翌月分の休日予定を毎月1日に明らかにする』ことなどの申し入れを行いました。月初めの総点呼で「8月16日がピークで運転本数は〇〇本です」と言うのですから、その時には翌月分の休日予定もはっきりしているはずですが、そのくらいのことは社員の努力に対して応えてくれないのでしょうか。

また職場では、この9月も「連換調整」がはじまっています。2007年から9年間も「データ取り」ということで続けているこの「調整」についても『給気口寸法を65mm定位とする』ことについて会社は否定しています。取った「データ」を業務研究等で発表しているのですから、会社はデータ取りに協力している社員に「データ」を明らかにして「連換調整」の今後のあり方について全社員で「検討会」をやるべきです。それが社員の協力に応える「あるべき姿」ではないのでしょうか？！

裏面に関西支社に申し入れた内容の一部を載せています。  
社員の皆さん。賛同できる事柄については共に声を挙げて下さい！

## 会社に申し入れた内容の一部

- ◎極端に土・日・祝日出勤の多い状態が続いている。社員の私生活のスケジュールが立てにくいため、現行毎月10日に行っている翌月分の休日予定を「毎月1日に翌月分の休日予定を発表」するようにすること。
- ◎2007年から8年以上に渡って「データ取り」ということで社員の協力で行っている「連続換気装置給気口寸法調整」については給気口寸法を65mm定位とし、「著しい車内圧力の変動」があった場合のみ寸法調整を行うようにすること。
- ◎8年以上も社員の協力で行っている「連換調整」で得たデータについては「業務研究」等で発表を行っていると聞く。そのデータを全社員に明らかにし、今後の「連換調整」のあり方について職場で「検討会」を開催すること。
- ◎会社が今年度中に行うとしている「交番検査周期延伸」について、国土交通省に届け出た「社内規程の見直し」は、消耗品の摩耗量のみを検証した不十分な「テストカー走行」に基づくものであり、会社の言うところの『安全最優先』に反する。よって「検査周期延伸の計画」は撤回すること。
- ◎「ライニング」など車両検修に必要な物品の「在庫不足」が常態化している。これは会社の言う『安全最優先』に反する状態である。適正な在庫を確保するようにすること。
- ◎作業確認の「指差喚呼」が煩雑、複雑化している。「指差喚呼」を簡素化すること。
- ◎作業のチェックシートやチェックリストが増えている。ペーパーレス化に反するため社員の声を聞き、簡素化すること。
- ◎年休を最優先とし、見習い、出張、研修については年休とは別枠の要員を確保すること。
- ◎始業点呼は総点呼も含めて5分以内とすること。

〔他42件〕